



清風会

奈義ファミリークリニック

ファミリー便り

(ホームページも情報満載!見て下さい!)
<http://www.nagifamily.com/>

第117号
平成27年6月1日発行
社会医療法人清風会
奈義ファミリークリニック 松下明
奈義町豊沢 292-1
電話 0868-36-3012
Fax 0868-36-6435
編集担当 松下 中山 岡 三浦

奈義ファミリークリニックは、 家庭医療を実践しています!



これまでに何度か聞いたことがあるという方も、初めて聞くと言う方も、今回は、**家庭医療**について改めて知りたいと思います。

この**家庭医療**、日本ではあまりなじみのない名称ですが、海外では広く認知された医療の専門分野のひとつです。具体的にどのような特徴があるかを、私たちが普段大切にしている**3つのキーワード**から説明したいと思います。



総合性

私たちは、年齢、性別、病気の種類を問わず、赤ちゃんからお年寄りまで、家族丸ごと対応できるように心がけています。診療範囲は内科、小児科、皮膚科、整形外科、睡眠や心の問題など、あらゆる健康問題の初期対応です。また、外来だけでなく、患者さんのお家に伺う訪問診療・在宅医療を行うことで、病気の方が家で暮らすお手伝いもしています。禁煙外来や予防接種といった予防活動にも力を入れています。

つながり

とはいうものの、私たちだけで全ての問題を解決することはできないため、このような時は、他の専門医としっかり連携をとるようにしています。そして、連携するのは専門医とだけではありません。学校の先生、保健師さん、ケアマネジャーさん、ヘルパーさんなど、地域の様々な資源を活用して、皆さんが安心して暮らせるように取り組んでいます。

コミュニケーション

私たちは、皆さんの一番身近なところで関わる医療者だからこそ、皆さんの価値観や人生観、そして家族の状況なども広く把握するように心がけています。そのため、どのような病気を心配されて受診されたのか、その病気が患者さんにとってどういう意味を持つのか、ということも考えます。そして、こうした患者さんの思いを伺うと同時に、医療者としての専門的な判断を行って、患者さんと共に今後の治療を検討し決断していくことになります。病気や身体をみるだけではない、こうした患者さんとのコミュニケーションも大切にしています。

つまり、私たちは「日常病」の気軽な相談員で、日常病には最適な治療を施し、比較的珍しい病気や、より専門的な検査や治療が必要な場合は、適切な専門科をご紹介します。そして、患者さんやご家族の状況や、それを取り巻く環境など、全てを踏まえた上で最良と思われる医療を提供することを目指しています。

ここまでお話しして、「その通りだ」と思われる方もいれば、もしかすると「そんなスーパードクターが本当にいるのか?」といふかしく感じた方がおられるかも分かりません。もちろん、私たちがいまだ完全にこれらを実践できているわけではないかもしれませんが、こうした医療を通じて地域の方々安心して暮らし、病気を抱えながらも充実した人生を送るためのお役に立てればと願っています。(次ページへつづく)



(前ページつづき)

また、当クリニックでは、**家庭医の育成**や、**学生や研修医の教育**にも取り組んでいます。



奈義町には家庭医療の専門研修を受けた医師が沢山いても、全国的にみると、実はこのような医師はまだ非常に少ないのが現状です。実際に、諸外国に比べて、日本は家庭医療の整備に30年以上、立ち遅れていると言われていています。このため、私たちは、将来的に日本全国で家庭医として活躍してくれる医師を育てるべく、教育にも力を入れて取り組んでいます。

また、将来は、家庭医以外の専門医を目指したいという学生や研修医の受け入れも積極的に行っています。たとえば、彼らが家庭医以外の道に進むとしても、上に挙げたような「つながり」や「コミュニケーション」を大切にする専門医になってくれたとしたら、素敵なことではないでしょうか。

さらに、最近では、幅広くいろいろな健康問題に対応でき、地域の役に立てる医療者は、医師以外の看護師や薬剤師でも同様に求められています。そのため、若い看護師や薬剤師、学生の受け入れも行っています。

診察への同席や、実際にお話を伺わせていただくことをお願いすることがあるかと思いますが、どうぞご理解いただき、ご協力いただければと思います。何かお気づきの点がございましたら、ご遠慮なくスタッフにお申し付けください。

(文責：中山 元 医師)

家庭医療専門薬剤師レジデンシープログラムのご紹介

4月より、家庭医療専門薬剤師レジデンシープログラムを奈義ファミリークリニックで開始させていただきました。現在、家庭医療専門薬剤師レジデント1名(中西 由恵)がお世話になっております。2年間の研修を行いますので、みなさま、よろしくお願いいたします。

家庭医療専門薬剤師レジデンシーとは、①「臨床推論に基づき、受診勧奨トリアージ」が行える薬剤師を育成する、②「適切な薬物療法を提供できる」薬剤師を育成する、の2つを目的にしております。4領域33項目の到達目標を特徴としており、3年間の研修を行い、このうち2年を奈義ファミリークリニックで週2日の研修をさせていただきます。家庭医療専門薬剤師レジデントはマスカット薬局の薬剤師で、保険薬局に勤務しながらの研修になります。奈義店、日本原店、湯郷店をローテーションしながらの勤務をいたしますので、店舗で見かけた際には気軽にお声かけいただければと思います。

「臨床推論」は薬局での一般用医薬品(OTC)の販売時に活用し、医師の診察を受けたほうがいいかどうかの判断——受診勧奨トリアージ——に活用します。「適切な薬物療法」は医師の処方せんに基づく治療において、適切な調剤と説明により、効果をより高く、副作用をより少なくすることに活用します。また、できるだけ処方薬の数を少なくできるような工夫やアドバイスをさせていただきます。

家庭医療専門薬剤師レジデンシーは、奈義ファミリークリニックで行われています家庭医療後期研修を参考にさせていただいており、家庭医療を専門とする薬剤師育成を行います。奈義ファミリークリニックの先生方と同様、ご家族を含めた視点での医療を提供したいと考えております。なお、10月からは、家庭医療専門薬剤師レジデント(河南 真依)もお世話になりますので、よろしくお願いいたします。



こんにちは。

家庭医療専門薬剤師レジデント 1期生の中西由恵(なかにし よしえ)です!!

現在、マスカット薬局 奈義店で薬剤師をしております。

4月より、ファミリークリニックで家庭医療を学ぶ研修をさせていただいております。

毎週水曜日と金曜日、診察の見学をさせていただいたり、往診に同行させていただいたりしております。

どうして、薬剤師が診察室にいるのだろう・・・?!と思われたのではないのでしょうか。

通常、薬剤師は、処方せんの内容を頼りに、患者さんの状態を把握し、お薬をお渡ししております。

しかし、診察の様子を学ぶことにより、「どういう病状で、この薬が出ているのか」ということを理解し、薬局で的確なお話をさせていただけるのではないかと考えます。

この研修をとおして、病気を推測しながらちょっとした健康相談(病気の予防)にも対応できるようになることを目標の一つとしています。

薬局が地域の方々が気軽に立ち寄れる健康ステーションとなり、健康の輪が広がればいいな!と思っています。



江口先生のつばやき

まだ5月の終わりだというのにまるで夏が来たような暑さですね。

「まだ夏ではないし・・・」と油断していると、熱中症が増えるこの季節！

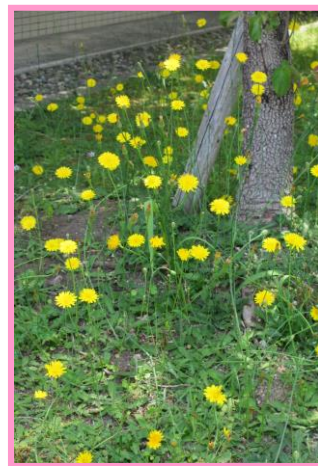
屋内で熱中症になってしまうこともあります。こまめな水分・塩分補給をお忘れなく！！

いま、ファミリークリニックはかわいい黄色い花に囲まれています。往診中にもよく見かけるこの花、タンポポにそっくりなのですが・・・

ちょっと違うのです。茎が枝分かれしていて、タンポポよりも背が高い。

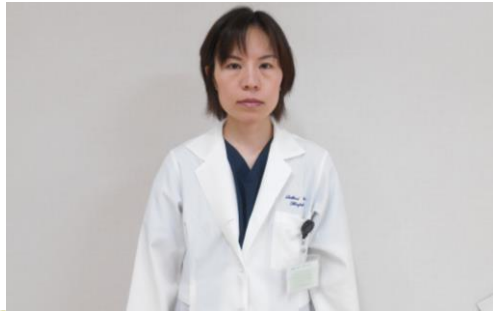
クリニックの中では、綿毛もできていたタンポポの仲間じゃないかという人がいれば、アザミの仲間じゃないかという人もいて。

インターネットで調べてみたら、どうやら「フタナ」という花のようです。タンポポと同じ「キク科」で、「タンポポモドキ」という別名もあるそうです。タンポポの花が終わった6月頃～9月までの比較的長い期間花を咲かせ、刈り込んででもすぐに再生するたくましい花だということでした。よく見ると本当の「タンポポ」も一緒に咲いています。風に揺れる花がきれいですね。



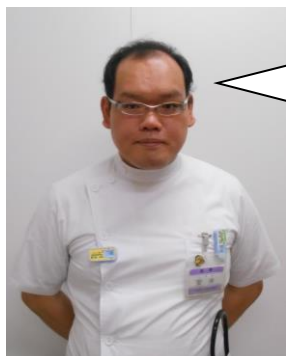
研修を終えての感想

鳥取大学医学部附属病院の初期研修医、兼村恵美子です。外来見学や予診でお世話になった患者さん、どうもありがとうございました。「〇〇先生の診察の前に少しお話を・・・」と言いながら、患者さんのお話が興味深く、時間が経つのを忘れることもしばしばでした。お話の内容は病気のことだけでなく、家族の介護・趣味や仕事・奈義町のことなど多岐に渡り、今後医師をしていく上で役立つことが山ほどありました。私は、「幅広い年代の方々の一般的な病気をたくさん診たい。」と意気込んでこちらへ来たのですが、最も考えさせられたのは、意外にも医療費のことでした。配偶者を介護されている後期高齢者の方から「年金が少ない上、介護サービスにも通院にもお金がかかる。仕事を続けながら家事も介護もしている。」と伺いました。具体的な金額も教えて下さり、家計の厳しさが伝わってきました。医師にできることは、医療費を抑える工夫をすることや場合によっては状況を把握して行政に橋渡しすることだと思いました。当クリニックは、十分に診察した上で必要最低限の検査を行っている点が素晴らしいです。私もそこを意識して日々の診療に役立てようと思います。一ヶ月間お世話になりました。



研修医・研修生の紹介

今月は、川崎医科大学附属川崎病院の初期研修医と、三重大学・大分大学の医学生の3名が研修に来られています。



安井 晴之進先生
(川崎医科大学附属川崎病院)
6/1～6/30まで研修されます。



石川 菜摘子さん
(三重大学6年生)
5/11～6/5まで研修されます。



上野 翔子さん
(大分大学6年生)
5/25～6/5まで研修されます。



医師の診察前後に、研修医・研修生が患者様のお話を伺う事があります。皆さんの予診や診察をお願いする事がありますが、ご協力宜しくお願い申し上げます。お気づきの点がございましたら、遠慮なくお申し出下さい。

* 医師不在のお知らせ *

- 6月 1日 (月) は、松坂医師は不在です。
- 6月12日 (金) は、松下医師・賀来医師は不在です。
- 6月15日 (月)・16 (火) は、中山医師は不在です。



～病児・病後児保育室「コアラのお医者さん」～

奈義町内在住のお子さん（生後6か月から小学校3年生までの児童）が病気の時に、保護者がお仕事・冠婚葬祭などの理由で家庭保育できない場合、一時的にお預かりをします。

詳しくは、当院のホームページにも案内を載せていますのでそちらもご覧下さい。

また、何かありましたらスタッフ、奈義町保健相談センター（36-3700）にお尋ね下さい。



今月の担当医

- ・ 松下医師の月曜午前と金曜午後の診察は完全予約制です。
- ・ 予約外の診療を担当するため、**オレンジ色の医師は予約を受けておりません。**
- ・ 出張や研修などで変更する場合があります。

*** 休診のお知らせ ***

6月13日 (土) は、医師が学会参加の為**休診**させていただきます。ご了承下さい。

	月	火	水	木	金	土
午前	松下 江口 辻川 松坂	中山 江口 辻川	松下 賀来 中村 江口	中山 中村 山内	中山 賀来	交代制
午後	中山 松坂 江口	中山 辻川	賀来 江口 丸山	休診	松下 賀来 辻川 丸山	休診

今月の診療所情報

通常の診療受付時間

午前8時30分～午後12時 (月曜～土曜)

午後3時30分～午後5時30分

(木曜・土曜午後は休診)

夜間、木曜・土曜午後、日曜祝日は日本原病院

へご相談下さい。

土曜日の外来予定*変更する場合があります

6月6日 (土)	松下・江口
6月13日 (土)	休診
6月20日 (土)	賀来・丸山
6月27日 (土)	中山・辻川



●日本原病院耳鼻科（東川医師）●

平成27年6月6日と20日 (土) 午前中のみ
順番を取りに行く場合は

午前8時から11時まで

電話で順番を取る場合は (電話0868-36-3311)

午前8時30分から11時まで

●予防接種・乳幼児健診外来●

月・水・金の15時～16時です。

*ご予約をお願いします。

*母子手帳を必ずお持ちください。



忘れた場合、接種できないことがあります

●栄養指導●

毎月第2土曜日と第2火曜日の午前中に栄養士による栄養指導も行っています。興味のある方は診察時医師にお尋ねください

